



MGL604P/1204P

GPSナビキャスタ(重量計付)



これから
かたち
次世代の散布
～より精密な肥料散布へ～

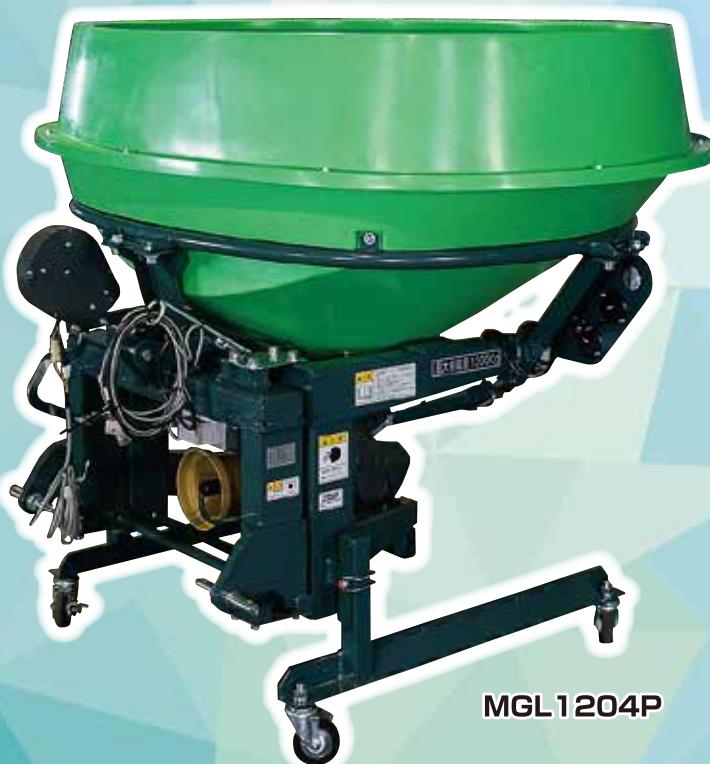


👍 GPSナビキャスタシリーズに
重量計付きタイプが登場!!

重量計測を用いた
「自動補正」機能で
散布量が安定します。



ナビゲータに重量(kg)が表示されます。



本製品は、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)「次世代農林水産業創造技術」によって実施されました。GPSナビキャスタ MGLシリーズには、農研機構との共同研究成果の一部を利

MGL1204P

肥料が一定量以下になるとアラームでお知らせ



GPSナビキャスタ(重量計付)



■仕様

散布方式	型 式	ホッパ容量 ℓ	機体寸法 mm			重量 kg	性 能				装着方式	PTO回転数 rpm	適応トラクター kW(PS)
			全長	全幅	全高		作業速度 km/時	散布幅 m	毎時能力 a/時	散布量 kg/10a			
スパウト	MGL604P	600	1600	1900	1050	285	4~10	粒状 7~12	粒状 170~720	粒状 5~180	直装	450~500	33~59 (45~80)
	MGL1204P	1200	1650	1950	1350	300		砂状 5~7	砂状 120~420	砂状 10~620	I・II兼用		51.5~88 (70~120)

※散布幅は肥料の性状により変わります。※本品は仕様・形状・色等を変更することがあります。

※全高寸法及び重量はスタンドを含んでいません。

※砂状肥料などで[]内の設定を下回る場合、散布量の自動補正が正しく機能しない場合があります。

【作業速度6km/時、散布幅5.5m、散布量40kg/10a】

◆農耕トラクタとのマッチングに限り公道走行に対応しています。

◆公道走行に関する詳細は日本農業機械工業会の公道走行ガイドブックをご確認ください。

注意 鉱物系資材(鉱さい、鉄、粉碎石灰など)の散布は著しい摩耗が発生するため適応しておりません。

👍 部品番号1648670000:GPSセットコードAssy

オプション部品

他社製RTK対応GPSナビゲーション・自動操舵装置と接続し、より精度の高い経路誘導が可能となります。

また、GPS受信機を複数取り付ける必要がなくなり、装着も簡単になります。

※GPS受信機のメーカー、型式により接続できない場合あるいは他社製の変換ケーブルが別途必要になる場合があります。接続に関してはGPS受信機販売会社へお問い合わせください。



🌐 部品番号1488550000:肥料流動測定器



肥料20kgを2回に分けて肥料流動測定器を投入し、肥料流動測定値を算出します。自動補正が始まるまでの散布誤差を最小限に抑え散布開始時からより正確な肥料散布が行えます。

⚠ 安全についてのご注意

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用の前後には、十分に点検・整備をおこなってください。

商品についてのご相談・ご意見は下記へご連絡ください。

ホームページは
こちらから

安全はIHIアグリテックの願いです。

株式会社IHIアグリテック

千歳本社

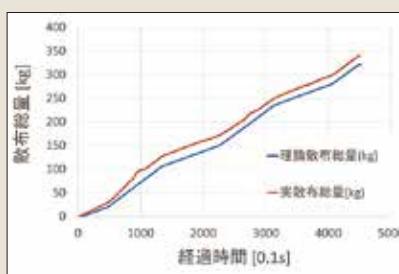
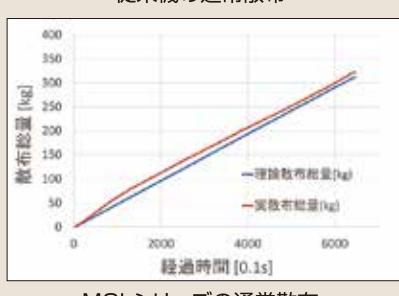
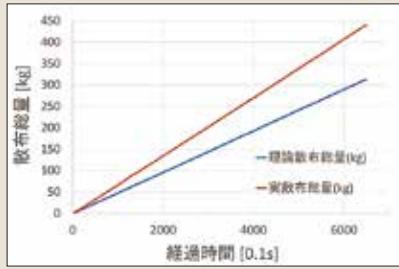
〒066-8555 北海道千歳市上長部1061番地2
TEL 0123(26)1123 FAX 0123(26)2412ホームページアドレス <https://www.ihi.co.jp/iat/>*このカタログの写真・仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
2024.5作成 SU3AO42A018

ICTが導く新世代の肥料散布機

重量計付のメリット

①散布量の自動補正

従来の散布方式では散布精度等の影響で設定した散布量(グラフの青線)よりも実際に散布された量(グラフの赤線)の方が多く、散布誤差は増え続ける傾向にあります。



MGLシリーズは重量計で実際に散布された量を計測しているので、散布誤差を自動補正し設定した散布量通りの肥料散布が可能です。また、散布誤差の補正值は次の圃場へ持ち越せます。

②肥料の積載量を可視化

ナビゲータの画面左下に重量(kg)が表示されるので、肥料がどれくらい残っているのか確認できます。



公道走行対応機材標準装備

灯火器類や反射ラベル、制限標識等を標準装備しています。

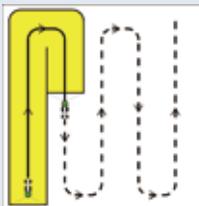


GPS車速連動+経路誘導で簡単作業

「経路誘導ガイドパターン」は2パターン

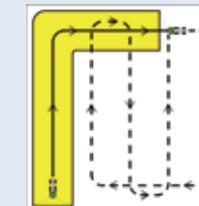
隣接散布パターン

設定した誘導幅へガイドします。



外周&自動均等割散布パターン

一本目の走行ラインを記憶して、外周散布後に内行程を自動均等割りし目標ラインへ誘導します。外周へ差掛かったときやバック走行時は、シャッターが自動で閉まります。



◎肥料がなくなつて作業を中断する場合、中断した位置を記憶、再びそこまでの誘導を行う「ブレーキリターンシステム」を設けています。

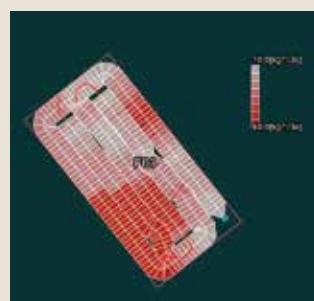
作業記録をUSBメモリに自動保存、作業確認や作業日誌に活用

・作業履歴と作業ログがUSBメモリに自動保存されます。

・作業履歴は1日の作業内容を確認できます。

・作業ログの形式はKMLとCSVから選べます。

・KML形式の作業ログはGISツールを使って確認できます。



E03	
作業日	2021/12/1
開始時刻	14:56
終了時刻	14:59
作業機	計量プロードキャスター (スマート)
作場面積	5000m ²
荷場散存量 (理論値)	124.6kg
積算散存量 (理論値)	107.0kg
積算散存量 (実測値)	84.5kg
荷場間隔	1000cm → 1003cm
散布間隔	1000cm → 1000cm
終了状態	正常終了 (リストバス通過)

作業ログ

可変施肥に対応

可変施肥とは…

今までの施肥は…

ほ場一筆単位でしか散布量を決めることができなかったので、生育のばらつきに合わせた施肥ができませんでした。



可変施肥では…

ほ場の生育のばらつきに合わせた施肥ができるので、生育の均一化と肥料削減ができます。



ほ場の状況に応じた施肥マップを作成

リモートセンシングデータを利用したISO11783-10形式、または空撮画像とGISツール*から作成したKML形式
★KMLファイルが作成可能なGISツール(2020年9月時点.*印は有償)
Z-GIS*(JA全農)、ArcGIS Earth(ESRIジャパン)、など

↓↓↓
USBメモリから、ナビゲータ部へと入力

↓↓↓
マップ情報に沿って、可変施肥を行います

※本製品は、農業・食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術研究支援センターが実施する「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業(うち産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)」により開発されました。
※本製品の可変施肥マップに関する機能には、内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)「次世代農林水産業創造技術」により開発された技術が使用されています。

ナビゲータの画面が明るいカラー画面になりました



起動画面

直進画面

旋回画面